

web アンケートに御協力ください

アンケート対象者

- A 現在、聴覚障害のある高校生
- B 聴覚障害学生として高校時代を過ごされた26歳くらいまでの方

↓アンケート↓



情報センターHP



県親の会HP



Web アンケートの URL は、情報センターHP「こどものページ」にも掲載しています↑

2021年7月10日発行



聴覚障害学生対象アンケート

【高校時代に欲しかった支援は??】

初めまして。中途失聴難聴事業推進委員会家庭部会※です。

難聴者・要約筆記者の各団体で構成し、兵庫県内の中途失聴難聴事業について共に考え、活動しております。家庭部会では、家庭生活（夫婦、子育て、介護など）に関することを中心に取り組んでおります。

要約筆記者（話者の話を要約し、文字として伝える通訳）の中には、聞こえない・聞こえにくい子どもたち（以後：聴覚障害児・生徒）のために、学校で要約筆記による情報支援を行っている方もおられます。制度も予算もない中で、聴覚障害児・生徒のご家庭と学校・教育委員会と相談を重ねながら細々と支援を展開してきました。地域差がありますし、このような活動をご存知ない方も多くおられます。

2020年度、コロナ禍での変化を問うwebアンケートを行いました。

地域の学校に通われた方から、高校時代は学習内容が難しくなるにも関わらず、難聴学級もなく、聴覚保障の支援も機器の利用が許可されている程度であるというお声もありました。

そこで今年度は、「聴覚障害学生が高校時代に欲しかった支援」について、

皆さんのお声を集めたいと思います。

2019年4月に、「Japan Hearing Vision ～ライフサイクルに応じた難聴者（児）支援を実現するために～」という考えが国から出されました。この考えに基づき、各県で取り組みが始まっております。このアンケートの結果は、兵庫県難聴児親の会と共有し、個人が特定されない方法で行政・教育機関との懇談会などでも活用させていただきます。

ご協力をよろしくお願いいたします

【アンケート実施期間】2021年7月～2021年8月15日（一次締め切り）

※構成団体：NPO 法人兵庫県難聴者福祉協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・神戸市難聴者協会・要約筆記サークルこうべ・兵庫県立聴覚障害者情報センター